

## 「総 PFAS 分析技術」の精度管理試験参加者の募集

環境研究総合推進費「5-2401 環境中 PFAS の包括的評価を目指した総 PFAS スクリーニング測定技術の開発」において開発中の「総 PFAS 分析技術」の精度管理試験を行います。下記ご確認いただき、精度管理試験に参加をご希望の方は 10 月 18 日までにコンソーシアム事務局までお知らせください。

### 概要：

下記三種類の測定技術について精度管理試験を行います。

- ・「総 PFAS 分析技術」として、ISO21675 に代表される PFAS の多成分個別分析
- ・抽出態有機フッ素(EOF)測定、ISO21675 の修正法となります
- ・TOP assay (総酸化法)

申し込み可能機関（分析事業者・大学・自治体は問いません、コンソーシアム会員外も申し込み可能です。）：ISO21675 の 30 成分の分析が可能な機関、あるいは EU 飲料水規制の 20 物質が測定できる機関を対象とします。

# ホームページの営業案内など、分析項目が確認できる資料を申し込み時にご提出ください。

### 試験試料（予定）：

下記三種類の試料について、それぞれ三種類の測定(ISO21675, EOF, TOP)を行います。

- ・河川水試料、3 種類
- ・土壌試料、1 試料
- ・プラスチック(樹脂)粉末、1 種類、PFOS/PFBS について保証された値のある組成標準物質です

### タイムテーブル：

- ・10 月 18 日 申し込み締め切り、配布試料数に限りがあるため、基本的に先着順となります。
- ・11 月初旬 試験試料の送付
- ・1 月末 試験結果の報告

# 試験参加機関には「参加費無料で分析操作手順書と試験試料を配布」します。

# 試験試料には化審法第一種特定化学物質が含まれますので、確認書(産総研から配布)のご提出をお願いします。

# 総 PFAS 分析経験のある国内機関は少ないため、適宜オンラインでの指導も行います。

# 試験結果は「参加機関名匿名」で環境研究総合推進費及び研究報告として公開しますので、ご承知おきください。また、試験結果の公表後でしたら、ご自身の分析結果を事業目的

等に使用して頂いて構いません。

# 技能試験参加機関については、現在作成中の「PFAS 対策技術事業者総覧」にその旨記載いたします。

# EOF 測定には燃焼イオンクロマトグラフ(CIC)が必要ですが、自社で測定設備・経験が無い機関については、EOF のみ、試料抽出液を提出いただき、産総研でフッ素測定を行います。

# ISO21675 についてはコンソーシアムデータベースの下記を参考にしてください。

A-29.「ペルおよびポリフルオロアルキル化合物 (PFAS) の環境研究の動向～分析方法を中心に～」谷保佐知、2023 年度産学連携学会九州支部ネットワーク会議(2024 年 3 月 19 日)

# EU 飲料水規制の 20 物質は下記参照

[https://life-source.se/nyheter\\_sv/new-limit-values-for-pfas-in-drinking-water-in-sweden/#:~:text=The%20limit%20value%20for%20PFAS%2021%20covers,Directive%20\(EU\)%202020/2184%20as%20well%20as%206:2](https://life-source.se/nyheter_sv/new-limit-values-for-pfas-in-drinking-water-in-sweden/#:~:text=The%20limit%20value%20for%20PFAS%2021%20covers,Directive%20(EU)%202020/2184%20as%20well%20as%206:2)